形成外科プログラム

【研修目標】

形成外科専門医の取得のために必要な知識と技術を習得します。なお、専門医制度改定に伴い、平成 28 年度より日本専門医機構形成外科領域専門医取得が目標となります。規定により、研修期間は 4 年必要です。研修は専門研修基幹施設あるいは専門研修連携施設で行う必要があり、専門研修基幹施設で最低 1 年の研修を必要とすることとなっています。

研修中に大学院に進学して学位取得を目指す場合は、研究との両立を図りながら臨床研修を続けて専門医を取得します。

【卒後３年目カリキュラム】

兵庫医科大学病院で各種の形成外科疾患の診断・治療について研修し、形成外科的な皮膚縫合法・皮膚腫瘍の摘出・小範囲の植皮術・簡単な皮弁形成術等を習得します。学会での症例報告も行います。

【卒後４～５年目カリキュラム】

悪性腫瘍切除や外傷による組織欠損に対する再建術（顕微鏡下の血管神経吻合術等も含む）・顔面骨折の整復・顔面先天異常に対する形成術・眼瞼周囲の手術等を指導医と共に執刀します。各種の皮膚疾患に対するレーザー治療も経験していただきます。

この期間に大学外の専門研修基幹施設あるいは専門研修連携施設での研修を行い、より多くの指導医に接し、幅広い症例を経験します。

また、希望者には関連施設で美容外科の基本手技の指導を行います。

【カンファレンス・症例検討会等】

毎週水曜日の午後の病棟回診に引き続き、症例検討会・外国語文献の抄読会等を行います。

【学会、専門医】

日本形成外科学会への入会は必須です。その他、入会が望ましい学会としては日本マイクロサージャリー学会・日本頭蓋顎顔面外科学会・日本創傷外科学会・日本美容外科学会・日本頭頸部癌学会等があります。

日本専門医機構形成外科領域専門医の取得には、臨床研修 2 年の後、資格を有する研修施設において通算４年以上の形成外科研修が必要です。受け持った患者で直接手術に関与した 300 症例の症例一覧表（うち 80 症例以上は術者）、申請者が術者として手術を行った 10 症例についての病歴要約などの研修記録の提出、１篇以上の論文発表、学術研修会への参加等が必要です。

【関連病院】

大阪船員保険病院、大阪府立成人病センター、大阪府立急性期・総合医療センター、関西労災院、宝塚市立病院、癌研有明病院、東大阪市立総合病院　市立池田病院

【指導医】

主任教授：垣淵　正男	教授：西本　聡	准教授：河合　建一郎
講師：藤原　敏宏	助教：曽束　洋平	助教：藤田　和敏

【研修統括者】

教　授：西本　聡

【問い合わせ先】

河合　建一郎（医局長）　E-mail：k-kawai@hyo-med.ac.jp